

令和 3 年度

豊浦地区まちづくり協議会 第 3 回理事会議事録

- 開催日時 令和 3 年 6 月 24 日（木）午後 19 時から午後 20 時半まで
- 開催場所 川棚公民館 第一会議室（下関市豊浦町川棚 6167-2）
- 出席者 理事：藤村整市、瀧中裕、飯田俊幸、山本光治、野村幹夫、三滝一夫、東原実、西村淳子
行政：サポート室 安尾秀樹
書記：瀧中裕 ・ ・ ・ 計 9 名
- 議題 1.報告と協議
- 議事の経過の概要及びその結果
定刻になったため理事会を開始。藤村会長が挨拶を述べ、議長、書記を瀧中裕事務局長とした。

報告と協議

- 活動報告及び協議事項
 - 書面表決の結果について
 - 議案への賛否及び意見の集約と理事会報告代議員 55 名中、書面表決提出 53 名で、すべての議案が過半数の賛成で可決された。
代議員には別紙の可決内容を報告する。
特記事項
 - SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みも、活動の中で意識していけたらと思う。
 - 役員の顔ぶれがあまり変わらないのは疑問。
 - 書面表決に先立って、理事から表明された運営・活動に関する意見。
 - 「豊浦地区まちづくり協議会」が豊浦町民に対してどこまで寄り添えるか。
 - 一部の片寄った会運営になっていないか（各部会のあり方を含めて）。
 - アンケートの調査の内容をしっかりと精査する事が大事ではないか。
 - 川棚温泉まちづくり（株）、自治会、社協等の係わり合いは。
 - 協議会の目的、部会の目的等にどこまで対応できているか。
 - 17 協議会の総会資料から
 - 各協議会とも、コロナ禍の影響で、十分な活動が出来なかった。特に、公民館、公共施設の閉鎖で会合やイベントが出来なかった。また、総会も書面表決が多かった。
 - 豊浦もだが、中東、山の田、長府、川中、安岡などは、地道な活動を継続して行っている。
 - 予算は活動が出来なかった分、活動経費より運営経費のほうが多くなっている。
 - 市への返還金が全協議会で 500 万円にのぼる。
- 各部会は公民館閉館のため中止
特記事項

少子化対策：「はたちの集い」で配る予定だったロゴ入りマスクと観光マップとアンケートは教育委員会
が配布物を該当者（約 180 名）に送るときに一緒に同封してもらった。アンケートの回収は豊浦地
区で 8 名、豊北地区で 3 名という結果だった。故郷がより良くなるにはという設問には、交通の便
を良くする、観光に力をいれる、古民家活用などの意見があった。

地域活性化部及び生活環境部で「川棚温泉駅をきれいにする会」を発足、役割分担を主要メンバーで話し
合った。

地域活性化部は川棚温泉駅のプラットホームの草刈り

生活環境部は情報プラザ周辺の花壇の手入れ

住民への呼びかけチラシは、川棚地区を中心に考え、自治会長経由とするため、一坪花壇として個
人が手入れする内容では、参加者が募りにくいとのことで、会が花壇を作る上で、お手伝いの要望
に修正することにした。

広報：会報 22 号（6 月）の発行。アンケート調査により、協議会の発行物とわかりやすくするために、
紙面を大幅に変更した。7 月は休刊。

（3）その他

- 6/22 「しもまちスタンプラリー2021」会議に西村理事、藤本事務員が参加。各協議会 5 地点を設定し、
全市内、7 月の通送で案内のチラシを回覧。8～11 月でラリーを実施。商品詳細などは次回会議で。
今回は 7/28（水）10：00～ 彦島公民館で実施予定。
- 室津地区の鰻絵に見学は、民家の細い路地などに入るので、あまり大勢の人が来るのは困る。
また、海水浴シーズンには路上駐車が多く、住民が迷惑しているとの事。
- 宇賀地区は、人口減少とそれに伴う空き家増加が喫緊の課題。

部会のスケジュール

【 少子化対策部会 】： 次回 7 月 1 4 日（水）1 9 時～川棚公民館

【 地域活性化部会 】： 次回 7 月 1 7 日（土）1 8 時～川棚公民館

【 生活環境 部会 】： 次回 7 月 1 5 日（木）1 8 時 3 0 分～川棚公民館

【 医療福祉 部会 】： 次回 7 月 9 日（水）1 8 時 3 0 分～川棚公民館

【文化・スポーツ部会】： 次回 7 月 1 0 日（土）1 0 時 0 0 分～川棚公民館

次回理事会について

令和 3 年度 第 4 回理事会 ： 7 月 29 日（木） 19 時～ 川棚公民館

令和 3 年 6 月 24 日

書記 _____ 印

議長 _____ 印